

経営比較分析表（令和元年度決算）

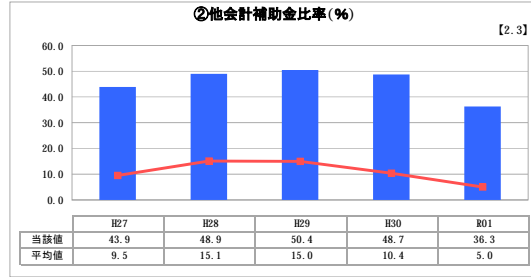
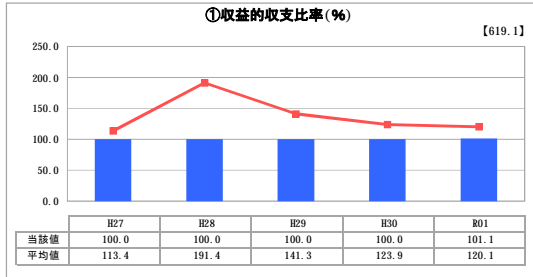
大阪府摂津市 フォルテ摂津自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場 届出駐車場	地下式	26	

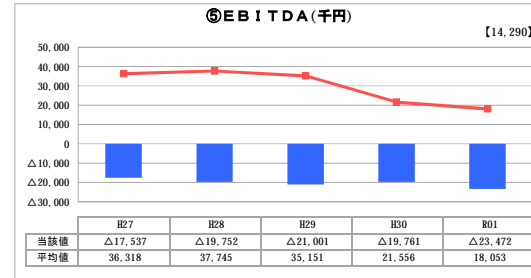
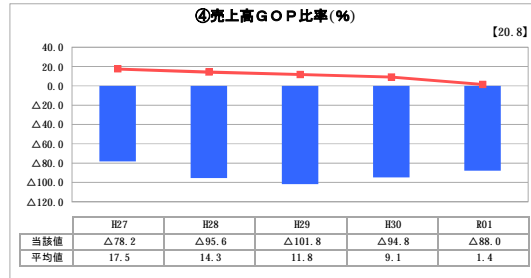
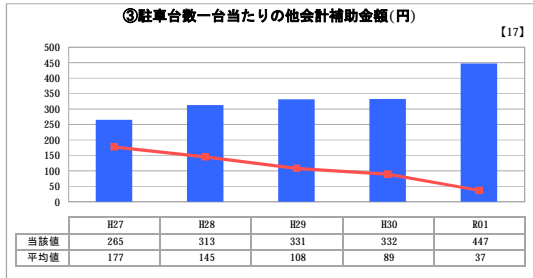
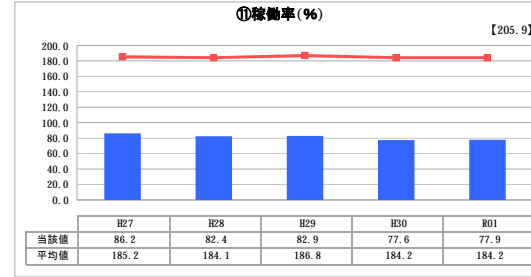
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	2,072
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
190	200	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[]	令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



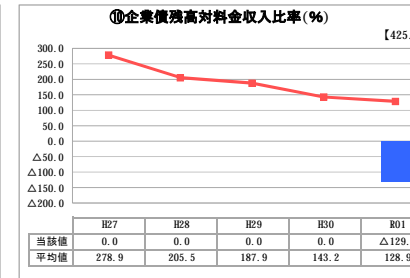
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)	0
⑧設備投資見込額(千円)	0



分析欄

1. 収益等の状況について
平成24年度に収入の改善の為、時間当たりの料金や24時間最大料金の見直し等を実施した。また、平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の収益的収支比率は100%となっている。しかし、依然として、他会計からの繰入金に頼り、駐車場収入の赤字を補填している状態が続いている。

2. 資産等の状況について
平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の企業債残高対料金収入比率は0となっている。

3. 利用の状況について
類似施設平均値を大きく下回る稼働率となっている。原因として、近隣の民間自動車駐車場へ駐車する車両が多く、市営駐車場の需要が減少していると考えられる。令和元年度には一部を自転車駐車場へと変更した。

全体総括

他会計繰入金に依存している状態のため、令和元年度に精算機を設置し、無人ゲート化に改善を行い、人件費の削減に努め、経営改善を図っている。また、類似施設平均値を大きく下回る稼働率であることから、今後、事業を将来に渡って安定的に継続していくため、令和2年度中に経営戦略を策定し、事業経営の方針を示す予定である。

経営比較分析表（令和元年度決算）

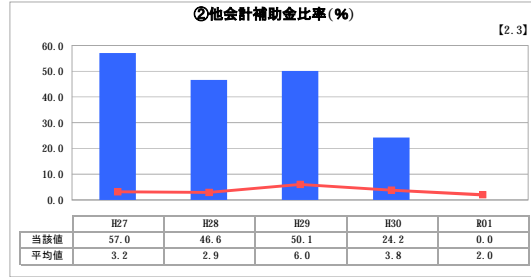
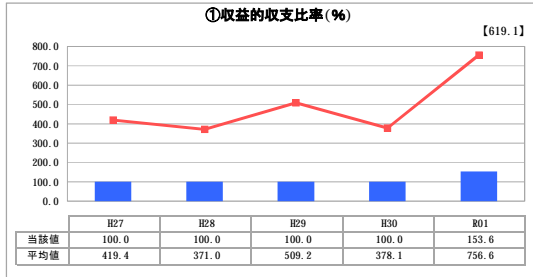
大阪府摂津市 南摂津第1自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	21	

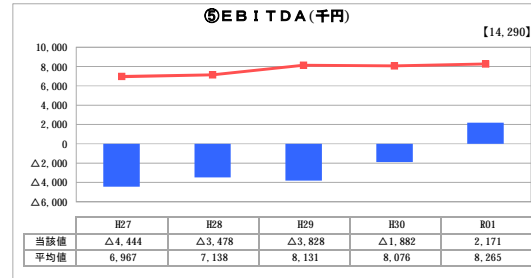
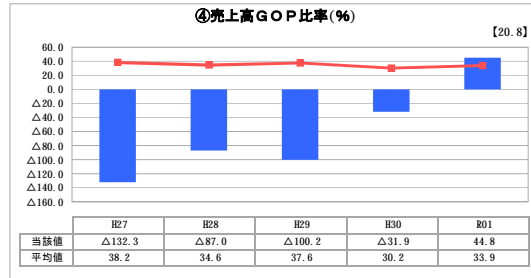
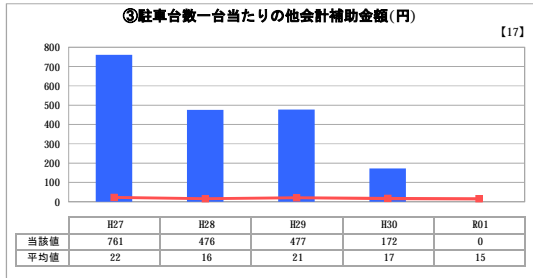
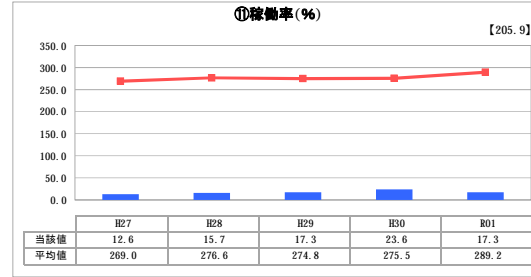
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
駅	無	3,372
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
127	200	利用料金制

グラフ凡例	
■	当該施設設備（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

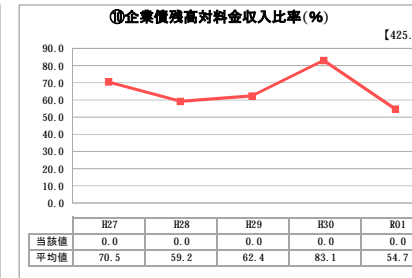


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 収入面では、平成24年度に時間当たりの料金や24時間最大料金の見直し等を、支出面では、平成26年度に出入口を機械化し、人件費の削減を図る等、収支の改善に取り組み、他会計補助比率は減少しているが類似施設平均値と比較すると駐車場収入の赤字を補填している状態である。令和元年度より利用料金制へ変更され、運営費等は指定管理者にて精える状態となった。令和元年度は近隣施設の工事等により定期券の需要が一時的に高まった。

2. 資産等の状況について
 道路高架下の平面施設であり、駐車場施設としては今後大規模な投資は見込んでいない。

3. 利用の状況について
 類似施設平均値を大きく下回る稼働率となっており、原因として、近隣の民間自動車駐車場へ駐車する車両が多く、市営駐車場の需要が減少していると考えられる。

全体総括
 令和元年度より指定管理者の利用料金制となり、運営費等は指定管理者にて精える状態となった。類似施設平均値を大きく下回る稼働率であることから、今後、事業を将来に渡って安定的に継続していくため、令和2年度中に経営戦略を策定し、事業経営の方針を示す予定である。